

平成 29 年度調査研究テーマ及び概要

調査研究テーマ	概 要	備 考
青森県における大気中トリチウムの化学形別濃度調査	トリチウムは、大気中において種々の化学形（水蒸気状（HT0）、水素ガス状（HT）、有機トリチウム状（CH ₃ T 等））で存在するため、バックグラウンド地域及び六ヶ所再処理工場周辺地域において化学形別の実態調査を行い、モニタリング結果の評価に資する。	昨年度からの継続テーマ
環境試料中のトリチウム、炭素-14 及びヨウ素-129・131 調査 （日本原燃(株)との共同研究）	再処理工場から放出される放射性物質による環境への影響を把握し、環境モニタリングにおける線量評価の妥当性を確認するため、施設周辺地域において野菜や海産食品等に含まれるトリチウム、炭素-14 及びヨウ素-129・131 について、県及び日本原燃株式会社が共同で調査を行う。	昨年度からの継続テーマ
ICP 質量分析法による環境試料中のヨウ素-129 分析の検討	環境試料中のヨウ素-129 分析手法において ICP 質量分析法は、測定を妨害する同重体の干渉を除去する機構の開発等により、モニタリングで採用している放射化学分析法に比べ検出感度が向上してきている。 このようなことから今後のモニタリング手法の検討に資するため、ICP 質量分析法による環境試料中のヨウ素-129 分析法について、分析条件や測定条件、環境試料における検出可能レベルの検討を行う。	昨年度からの継続テーマ
表土中ヨウ素-129 分布調査	再処理工場操業前から周辺地域の多数の地点において表土中のヨウ素-129 の測定を行い、ヨウ素-129 の分布状況を把握するとともに、環境における蓄積状況について調査する。	過去、平成 11・12 年度、21・22 年度に調査を実施